

社会課題 見本例

☆下の見本例は、教科書と照らし合わせながら参考にしてください。

歴史の教科書P48～49を見本に紹介します。

「+α」は、より良い・深い学習にしたい！という内容のものになっています。

「+α」も取り入れて、自分だけの学習課題をノートに仕上げてみよう！

48 第2章 古代日本の歴史

49

step1：見本の赤マーク・赤アンダーラインが引かれているところ。[+α：青のマーク]

step2：重要語句を簡潔に説明

→step1 を利用して文章を作成。[+α：アンダーラインを引いてない本文や資料を参考につくる]

例 ・桓武天皇…朝廷をまとめるために、寺院を奈良に残したまま、都を京都の平安京に移した天皇

[+α：坂上田村麻呂を征夷大將軍に任命し、東北地方の支配を進める]

[+α：律令政治を立て直すために、班田収授や税・労役を軽くした]

・平安京…794年に長岡京から移された都

[+α：縦横に区切られ整備された都で、唐の長安がモデル]

[+α：西の桂川、東の鴨川にはさまれている。朱雀大路に現在は電車が通っている]

・平安時代…794年～鎌倉幕府ができるまでの約400年間の時代

- ・最澄…伝教大師。唐で仏教を学んだあと、比叡山に延暦寺を建て、天台宗を広める。
- ・空海…弘法大師。唐で仏教を学んだあと、高野山に金剛峰寺を建て、真言宗を広める。
- ・浄土信仰…皇族や貴族で盛んになった、念仏を唱えて極楽浄土の世界に生まれ変わるのを祈る信仰
 [+α：世の中が乱れるという末法思想が広まったことが理由]
 [+α：代表作に平等院鳳凰堂の阿弥陀如来像]

step3：学習の確認と活用部分

⇒人物や地名・重要語句を使う。step1 や 2 を利用してつくる。

例 【確認】桓武天皇の改革

- ・都を京都の平安京に移す
- ・税や労役を軽くする
- ・東北地方の支配を進める
- ・国司の不正をとりしめる
- ・班田収授に力を入れる

【活用】各時代の支配の強め方



参考 飛鳥P36～39、奈良P40～47

- ・飛鳥時代…聖徳太子が冠位十二階や十七条の憲法を通して、天皇を中心とする国家づくり
 大化の改新を通して、全国の土地・人民を国のものにする公地公民を天智天皇が示す
 701年に大宝律令を定め、律令に基づいて政治が行われる
- ・奈良時代…中央の朝廷には、二官八省の役所を置き、地方には国司・郡司を派遣・任命する
 九州には大宰府を置き、唐や新羅との外交や防衛を任せる
 律令に基づいて戸籍を作り、人民の把握をする
 6歳以上に口分田を与え、死後は国に返す班田収授を行い、租庸調といった税をとる
 聖武天皇の時代に、仏教は国を守る力があるとして、国ごとに国分寺を建てる
- ・桓武天皇…奈良時代に権力を持った寺院を奈良に残して、都を京都に移す
 律令政治を立て直すために、国司の不正をとりしめし、税や労役を軽くする
 坂上田村麻呂を征夷大將軍として大軍を送り、朝廷の支配を東北地方まで広げる